

# 国分寺市立第三中学校 令和3年度 学校経営計画(概要版)

教育目標を達成するための基本方針  
**確かな学力を身に付ける教育の推進**

**(取組と方策)**

- ◇主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- ◇各教科の特性を生かし、教科横断的な視点で、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を高める
- ◇多面的かつ適切な評価・評定で生徒の学習意欲を高める
- ◇1人1台のタブレットを活用した学習活動
- ◇励ましや肯定的な声かけ等個に応じた指導
- ◇授業のユニバーサルデザイン化の推進

教育目標を達成するための基本方針  
**豊かな心と社会性を育む**

**(取組と方策)**

- ◇心の教育の充実(考え・議論する道徳)
- ◇褒め、認め、励まし、伸ばす指導(コンプリメント)の推進
- ◇生徒の学校居心地感(心の居場所、きずなづくりの場のある環境)を高める
- ◇生徒会活動を通じて、いじめ防止についての啓発を図る
- ◇社会的能力(「自己表現力」「自己コントロール力」「状況判断力」「問題解決力」「親和的能力」「思いやり)を高める
- ◇不登校について組織的な対応を行う

**教育目標**

- 自ら学び、よく考える
- 進んで協力し、他人を思いやる
- 心身ともにたくましく、最後までやり抜く

不登校対応には、学習指導力、生活指導力、教育相談力、進路指導力等学校の全てが必要

**(取組と方策)**

- ◇特別支援学級設置校である利点を生かした全ての教職員の「特別支援教育」に関する理解深化と指導力向上
- ◇他校と連携しながら、I組独自の特色ある教育活動の充実
- ◇特別支援学級と通常の学級との交流を積極的に進め、通常学級の生徒、特別支援学級の生徒がお互いに高め合う活動の推進
- ◇特別支援教室の巡回指導教員と連携した丁寧な指導の実施

教育目標を達成するための基本方針  
**一人一人の困難さの状況や発達段階に応じた特別支援教育を充実する**

**(取組と方策)**

- ◇望ましい勤労観や職業観を育成し、社会の一員としての礼儀作法等を学ばせる
- ◇自己理解を深め夢や希望を持たせるキャリア教育の充実
- ◇キャリアパスポートによる自己理解
- ◇協働する力、問題解決のための話し合いの力、自己実現は図ろうとする力の育成
- ◇自らの危機を予測し、回避する能力を高める安全教育の推進
- ◇体力向上とオリ・パラ教育の推進

教育目標を達成するための基本方針  
**生き方指導としてキャリア教育を充実する**

## 【褒め、認め、励まし、伸ばす指導(コンプリメント)の推進】

- (1) 学習指導、生活指導など様々な場面で、コンプリメントをすすめる生徒に自信をもたせ、生徒の自己肯定感、自己有用感を高めていく。
- (2) 保護者によるコンプリメントが生徒にとっては、一番の力となるので、学校と保護者が連携してコンプリメントをすすめていく。
- (3) 自己肯定感は、単なる自己肯定感でなく人の役に立つ力をもっていることを実感する自己肯定感。

## 【社会的能力】

	能力	育成のためのヒント
自己表現力	自分の気持ちや考え、意志等を伝える力。「感謝の気持ち・嬉しい気持ちを表す」「お願いする」「上手に断る」「相手のことを配慮して話す」等。	不適切な表現をしたときは、「こういう言い方をした方が伝わる」と具体的な表現方法を教える。
自己コントロール力	「我慢する」「待つ」「耐える」「ゆずる」「折り合う」「歩み寄る」という力。	それができたときに褒める。
状況判断力	「今、どんな状況か、何をなすべきか」を判断する力。雰囲気や相手の表情、動きなど非言語的情報を読む力。	その生徒なりの判断力を引き出す。「何をすることが優先順位1番?」「相手は何を伝えなかった?」など生徒なりの判断を引き出す問いかけ。
問題解決力	問題を自己解決する力。	「今、何が問題になっているか?」「どうすれば良いか」「誰に助けを求めれば良いか」など問いかけ自己解決力を高める。
親和的能力	「友達を誘う」「相手を励ます・盛りたてる」「仲直りする」力。	まず「ありがとう」「ごめんなさい」、挨拶ができる。クラスの生徒の名前を覚える。
思いやり	思いやられて育った生徒は思いやる生徒になる。	思いやりを表現する具体的な言葉、行動を示す。